



平成30年12月17日(月)
国土交通省 関東地方整備局
河川部

記者発表資料

「多自然川づくり」の官民連携で稼ぐ ミズベリング勉強会(5)開催

国土交通省では、「資源としての河川利用の高度化」に取り組んでおり、「魅力ある水辺空間の創出」方法として、水辺を活用したい人々の取り組みを積極的に支援することを方策としています。

また、魅力ある水辺空間の創出には、かつて失われてしまった美しい河川の環境や景観を取り戻す「多自然川づくり」の取り組みや、地域にふさわしい魅力と品格を備えた川づくりが進むよう、質の高い利用の促進や民間企業との連携等の視点を重視し、かわまちづくりに取り組むことが重要となっています。

こうした中、河川管理者のパートナーとして、行政予算に依存しないより良い河川空間の形成に重要な役割を担っている河川協力団体の取り組み事例を紹介し、地域の状況に応じた河川管理の紹介・意見交換を行います。

日時:平成31年1月16日(水)13:30~17:00

主催:国土交通省関東地方整備局

場所:さいたま新都心合同庁舎2号館5階中研修室5B

対象者:一般、民間事業者、地方公共団体、河川協力団体

参加費:無料(先着50名)

申し込み方法:別紙1(報道機関の方も申し込み頂けます)

●関東のミズベリング

<http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/index00000007.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、都庁記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、
刀水クラブ・テレビ記者会、千葉県政記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局河川部河川環境課

課長 吉川 宏治(よしかわ こうじ) (代表)048-601-3151(内線3651)

課長補佐 黒沼 尚史(くろぬま ひさし) (代表)048-601-3151(内線3656)

FAX048-600-1379

関東ミズベリング勉強会(第5回)

日時:平成31年1月16日(水)13:30~17:00

場所:さいたま市さいたま新都心合同庁舎2号館5階中研修室5B

主催:国土交通省関東地方整備局

プログラム

1. 関東のミズベリング・プロジェクト

河川環境行政の変遷 ～ミズベリング・プロジェクトまでの道のり～

【関東地方整備局河川環境課 課長補佐 黒沼尚史】

2. 持続性ある実践的な多自然川づくり

河川法改正から20年、多自然川づくりの目指すものは・・・

【水管理・国土保全局 河川環境課 課長補佐 福田勝之】

3. 河川協力団体と民間企業連携による河道内樹木の伐採

処分伐採木を用いた民間イベントによる河川のにぎわいづくり

行政予算によらない持続可能な河道内樹木伐採の取り組み

【京浜河川事務所 河川環境課 課長 櫛原賢二】

4. 冬の河川敷でにぎわいづくり① ～薪ストーブの魅力～

WOOD STOVE FES 2018 ピザを食べると多摩川が安全になる！？

WOOD STOVE FES 2019 大人も子どもも楽しめる体験型

【主催:河川財団、共催:東京ストーブ、後援:京浜河川事務所、八王子市、京王電鉄株式会社】

【株式会社カイクラフト 東京ストーブ】

5. 冬の河川敷でにぎわいづくり② ～冬の河川敷でもヨガ？！～

アウトドアウェアで真冬でもヨガができる！

WOOD STOVE FES2019で実演！

【ヨガインストラクター 曾田 容子】

6. 意見交換・座談会

会場からも参加をお願いします。

国土交通省生産性革命プロジェクト31

河川空間活用イノベーション～未利用空間の活用による生産性向上～

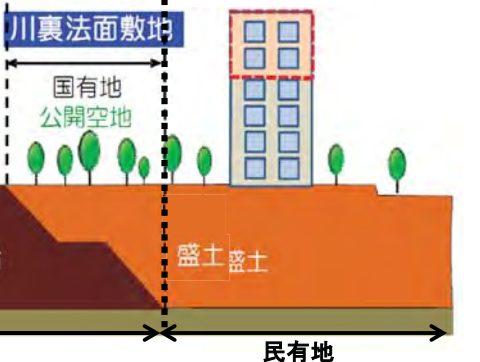
関東ミズベリング勉強会の構成

①水辺の活用による地域活性化

②民間事業者による河川敷地の一体的な活用

○河川空間の民間事業者による活用を促進することで、地域の「**儲ける力**」を向上、民間開発を促進

かわまちづくり計画 ← まちづくり関連法定計画



ミズベリング勉強会(7)3月13日

- 防災に強いまちづくりが水辺で稼ぐ(仮)
- ・水辺拠点の選定条件(評価指標)について(仮)
- ・高規格堤防整備における推進策等の調査研究
- ・防災につよいまちづくりで稼ぐ
- ・かわまちづくり支援制度で防災に強いまちづくり

ミズベリング勉強会(5)1月16日

「多自然川づくり」の官民連携で稼ぐ

ミズベリング勉強会(6)2月26日

●クラウドファンディングの活用(仮)

ミズベリング勉強会(1)7月10日

- 水辺で民活「官民連携かわまちづくり」
- ・資源としての河川利用の高度化
- ・都市再生整備計画を活用した河川のオープン化
- ・企業・自治体・河川管理者が参加する会議態
- ・羽田空港跡地のかわまちづくり計画

ミズベリング勉強会(2)8月28日

- 多様な水辺の価値を知って、観て、活かす
- ・船でめぐる東京の水辺
- ・日頃使わない神経を「水辺」が刺激する
- ・地域の資源を磨くことで「もてなし力」がつく
- ・水辺から始まる市民主導の公民連携

産官学マッチング説明会 9月14日

- 多摩川の資源を活かした観光まちづくりプラン
- ・プラン実現協働企業の募集
- ・産官学のマッチング

ミズベリング勉強会(3)11月21日

- 観光まちづくりプランで産官学広域連携
- ・大学生観光まちづくりコンテストとは
- ・これまでのステージ・取り組み紹介
- ・地方と東京圏の大学生対流促進事業
- ・制度活用事例(山梨県立大)
- ・かわまちづくり実施中の地方公共団体の視点

ミズベリング勉強会(4)12月21日

- ミズベ(地域)活性化の始め方
- ・かわまちづくりは、まちから。ミズベリングは人から
- ・地域活性化企画研修
- ・観光まちづくりコンサルティング事業
- ・官民連携基盤整備推進支援事業
- ・笛吹市の活用事例発表

ミズベリング勉強会(1)

水辺で民活「官民連携かわまちづくり勉強会」

- 関東ミズベリング勉強会(第1回)
日時:平成30年7月10日(火)14:00~17:00
場所:さいたま新都心合同庁舎2号館5A研修室
参加:30団体70人(自治体9、企業13、国8)
- プログラム
1. 資源としての河川利用の高度化「水辺川環境」
2. 官民連携かわまちづくりの進め方「関東地方整備局」
都市再生整備計画を活用した河川のオープン化
3. 多摩川流域まちづくり勉強会の紹介(東京電力)
※企業・自治体・河川管理者が参加する勉強会
4. 羽田空港跡地かわまちづくり計画の紹介(大田区)
水辺の商業利用の話題提供
5. 大学生観光まちづくりコンテスト2018多摩川ステージとは(JTB)
多摩川の資源を活かした観光まちづくり



- 関東ミズベリング勉強会の概要説明
●制度を取り組み紹介とともに、具体的な関係者に説明、参加者と情報交換を行い、連携のきっかけも期待する勉強会
●テーマ:水辺で「稼ぐ」(生産性向上)
1. 水辺を楽しく人を増やす
2. 水辺で新しいビジネスを作る人を増やす
3. 水辺で新しいビジネスを作る人を増やす
●平成30年度内に6回前後で構成見込み
- 国土交通省生産性革命プロジェクト(第4期)
●制度を取り組み紹介とともに、具体的な関係者に説明、参加者と情報交換を行い、連携のきっかけも期待する勉強会
●テーマ:水辺で「稼ぐ」(生産性向上)
1. 水辺を楽しく人を増やす
2. 水辺で新しいビジネスを作る人を増やす
3. 水辺で新しいビジネスを作る人を増やす
●平成30年度内に6回前後で構成見込み



ミズベリング勉強会(2)

～多様な水辺の価値を知って、観て、活かす～

- 日時・場所:平成30年8月28日(火)13:30~17:00
場所:川崎市第4庁舎会議室 参加:28団体50人(自治体9、企業16、国3)
プログラム
勉強会主旨説明 関東地方整備局河川環境課 松本 裕佳
1. ミズベリングの文化センター
2. 日頃使わない神経を「水辺」が刺激する
3. 水辺の地域活性化を推進しよう
一般社団法人 まちの魅力を研究 理事、東京大学名誉教授 堀 繁
4. 水辺から始まる市民主導の公民連携
三井不動産株式会社企画調査部上席主幹 辻田 昌弘
5. 産官学・意見交換
comecolor代表 篠塚 雄一郎
株式会社リビタホテル事業部 西山 尚子
6. ミズベリングの視点でものを見て～ミズベリングの活用～



ミズベリング勉強会(3)

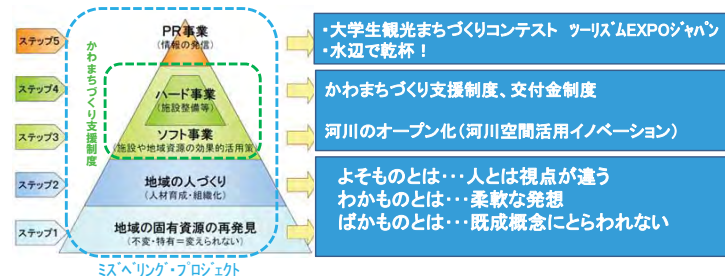
～観光まちづくりプランで産官学広域連携～

- 関東ミズベリング勉強会(第3回)
日時:平成30年11月21日(水)13:15~17:15
場所:東京都大田区南田地域庁舎南大ホール
参加:20団体40人(民間8、自治体9、国3)
- プログラム
1. ミズベリング・かわまちづくり、河川空間活用イノベーション(関東地方整備局)
2. 大学生観光まちづくりコンテストとは (株式会社JTBB)
3. ステージターンの成果と今後の展開 (関東地方整備局)
4. 内閣府・内閣官庁における地方官民連携推進事業
地方と東京圏の大学生対流促進事業等
【内閣府・内閣官庁における地方官民連携推進事業】
5. 制度活用大学推進(地方と東京圏の大学生対流促進事業)
【プロフェッショナル・山梨県立大学特任教授佐藤文昭】
6. かわまちづくり計画推進中の地方公共団体の視点
【大田区】
7. 意見交換



魅力ある水辺空間の創出～資源としての河川利用の高度化～

観光まちづくり5つの要素



「かわまちづくり」とは、
「かわ」と「まち」の良好な空間を形成する取り組み
「ミズベリング」とは、
水辺利用の新しい可能性を創造する取り組み

ミズベリング勉強会（５）申し込み

別紙1

送付先

国土交通省関東地方整備局河川環境課 黒沼・福元宛

メール：ktr-kasenkankyou@mlit.go.jp

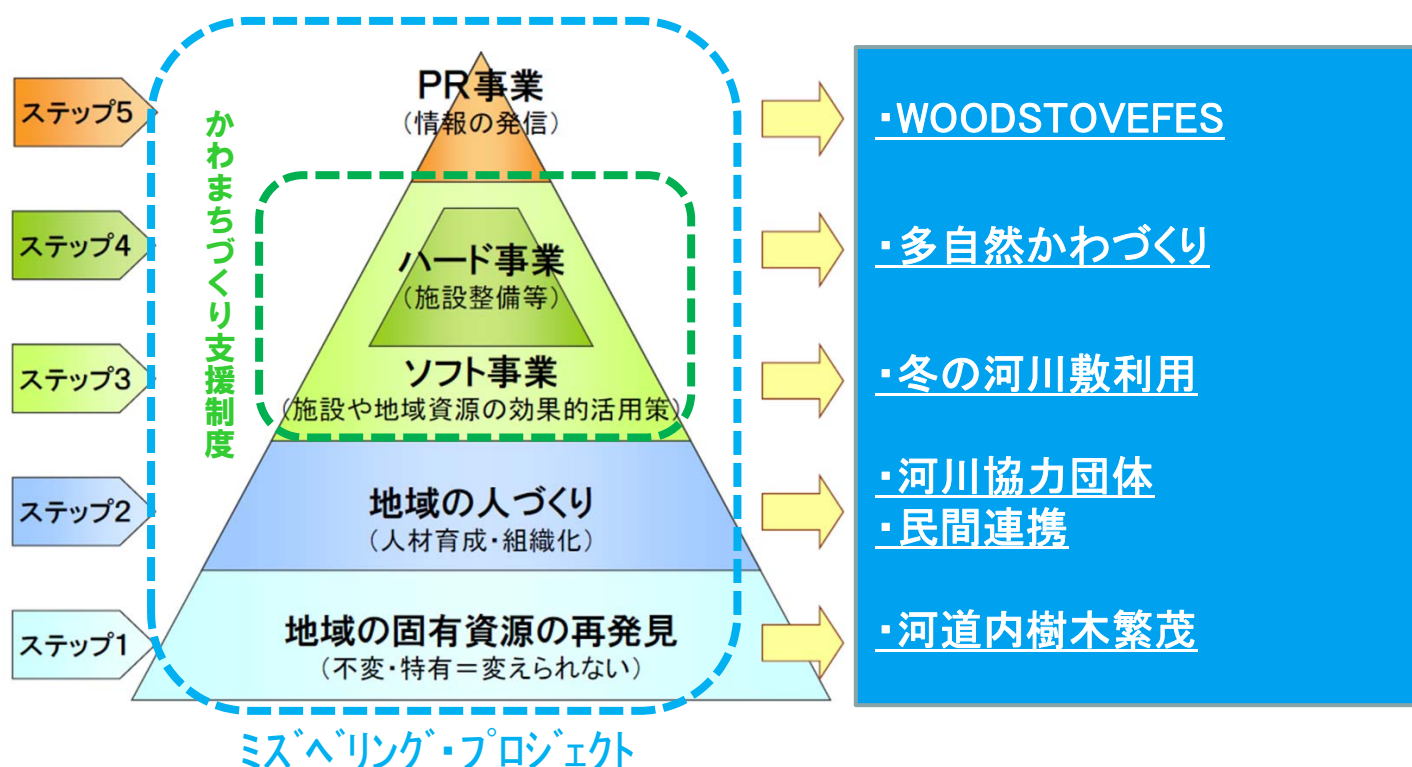
FAX: 048-600-1379

※申し込み期限：平成31年1月11日（金）先着50名

企業名・団体名	
申込者氏名	
担当者連絡先電話	
連絡用 メールアドレス	

※メールの場合は、本文にベタ打ちで構いません。

観光まちづくり5つの要素



2. 「河川法改正20年 多自然川づくり推進委員会」提言 ～「持続性ある実践的な多自然川づくり」に向けて～

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000052.html

提言は、大きく2つの視点からとりまとめられました。

○「実践・現場視点」常に現場視点で考え、河川環境の整備と保全を現場で徹底し、順応的に挑戦し続けるべきであること

○「持続性・将来性」日常的な河川管理の中で様々な工夫を凝らして河川環境の整備と保全を徹底し、**地域社会との関わりを深めていく**こと

また、この2つの視点をもとに、以下の7項目について対応方針が示されています。

[1]目標の設定

[2]技術の向上・一連の取り組み過程の徹底

[3]人材の育成・普及啓発

[4]日常的な環境への取り組みの徹底

[5]持続可能な川づくりのための地域連携の強化

[6]変化を踏まえた将来の河川像の検討

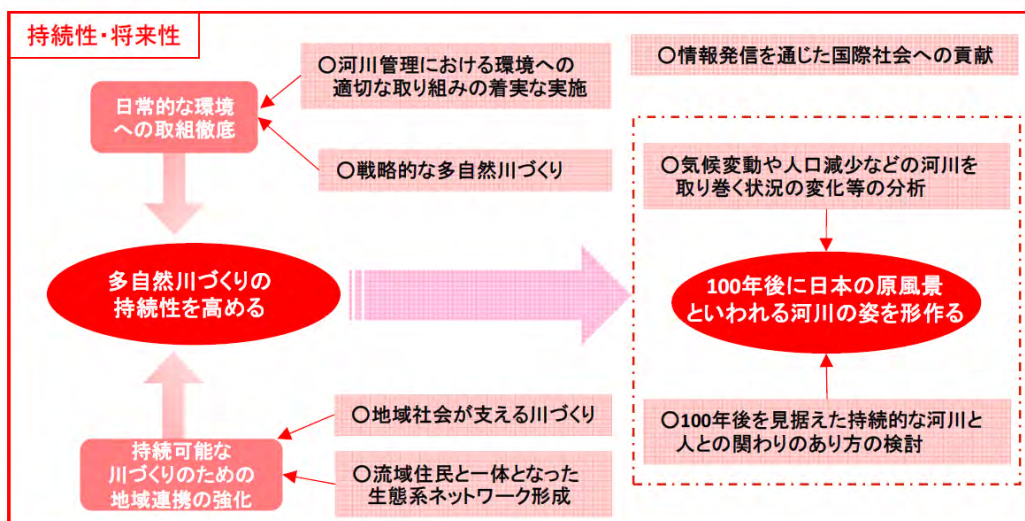
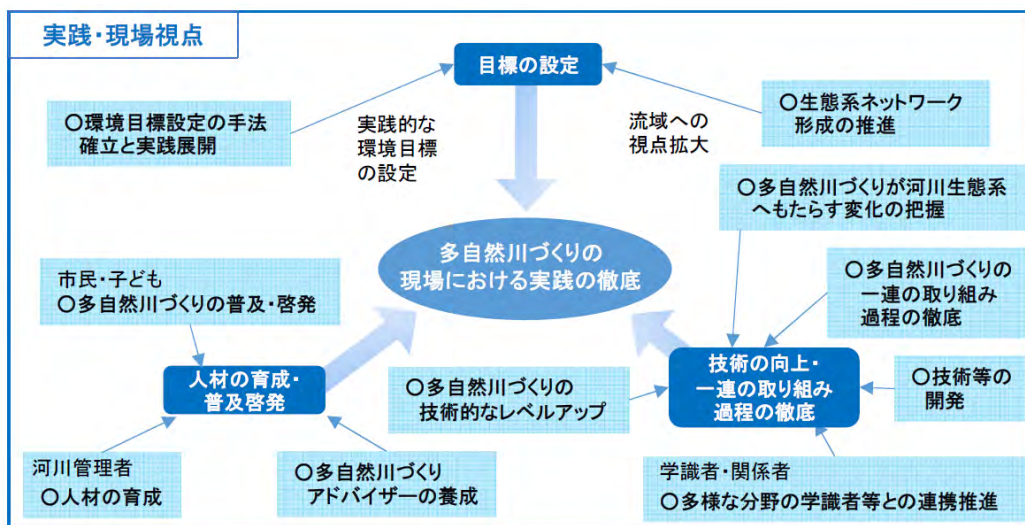
[7]国際社会への貢献

(5) 持続可能な川づくりのための地域連携の強化

① 地域社会が支える川づくり

地域の関係者が、河川の望ましい将来像を共有した上で、持続可能な川づくりを進めるため、地域連携の強化を図る。具体的には、市民団体等と連携し、多自然川づくりの調査から維持管理、モニタリングまでの一連の取り組み過程に市民等が積極的に関わることができるような仕組みを構築する。

また、河川の樹木等の資源的価値を再認識し、地域経済の中でこれらの資源が活用されるための仕組みを構築する。



3. 河川協力団体と民間企業連携による河道内樹木の伐採

<http://www.ktr.mlit.go.jp/soshiki/soshiki00000104.html>

平成30年度スキルアップセミナー関東

一般(くらし・活力)部門 12月19日 15:20～15:40

会場:さいたま新都心合同庁舎2号館共用中会議室(502)

発表課題:処分伐採木を用いた民間イベントによる河川のにぎわいづくり

http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000704833.pdf

京浜河川事務所管理課

<抜粋>

河川財団は河川協力団体としての役割を持っており、河川管理者のパートナーとして、河川管理者に協力して河川工事又は河川の維持を行うことが可能であり、高水敷等における竹木の伐採、流木、廃棄物の処分を河川管理者との協議が成立することで可能となっている。

そこで河川協力団体として河川財団が主体となり東京ストーブと協働し、調整役としてイベントを実施するスキームを構築した。

また、河川協力団体として河川財団は東京ストーブに限らず、他の民間事業者との協力により、河川の維持を実施することで活用範囲が広がるメリットもある。

本イベントは河川におけるにぎわいづくりの中で、河川維持費のコスト縮減へ繋がる取組でもあることから集客数増加のため、行政としても更なる広報により伐採量・配布量を増加させていくことが必要であり、本取組への協力を継続させていく。

また、河川協力団体を活用するスキームをキッカケに他地域に広がっていくような展開を図っていきたいと考えている。

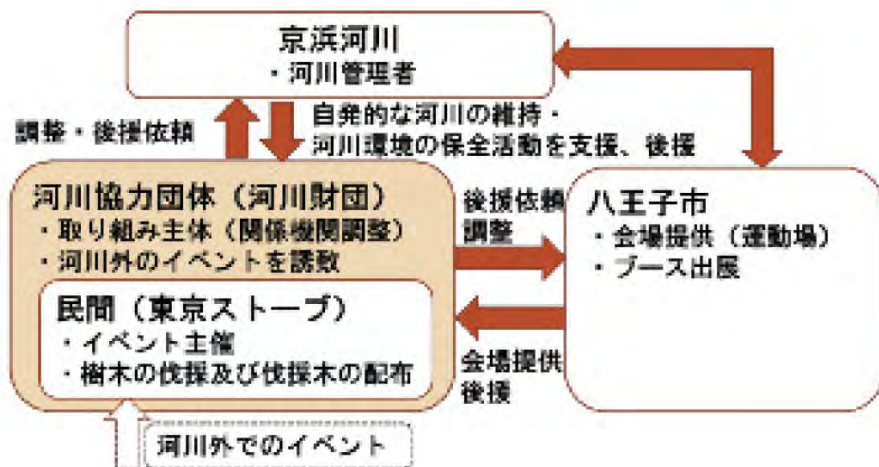


図-9 2018 年度以降のイベント実施スキーム

○河川協力団体制度とは、

自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行う市民団体等を支援するものであり、これらの団体を河川協力団体に指定し、河川管理者と連携して活動する団体として法律上位置づけることにより、自発的な活動を促進しようとするものです。

<http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/rcg/index.html>

○平成29年度 河川協力団体の指定状況(関東)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/index00000004.html>

※毎年夏期に募集しています。

○多摩川の薪で遊ぼう！食べよう！

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00807.html>

※樹木伐採を継続的に行ってくれる企業・団体を募集しています。

河川協力団体制度

私たちは川の守り人

河川協力団体



<http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/index00000004.html>

河川の維持、河川環境の保全などの河川の管理につながる活動を自発的に行っている民間団体等を『河川協力団体』として法律上位置付け、河川管理者と河川協力団体が充実したコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を構築することで、河川管理のパートナーとしての活動を促進し、地域の実情に応じた河川管理の充実を図ることを目的として制度化されました。

<http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/rcg/omoi.html>



川を守り
川を育て
川を使う

河川協力団体制度

河川協力団体制度の目的

河川管理者の目的

- 洪水等の災害防止
- 河川の適正利用
- 河川環境の整備と保全 など



河川協力団体の目的

- 河川空間を利用した活動
- 環境学習
- 環境美化 など



コミュニケーションにより
想いを共有

相乗効果

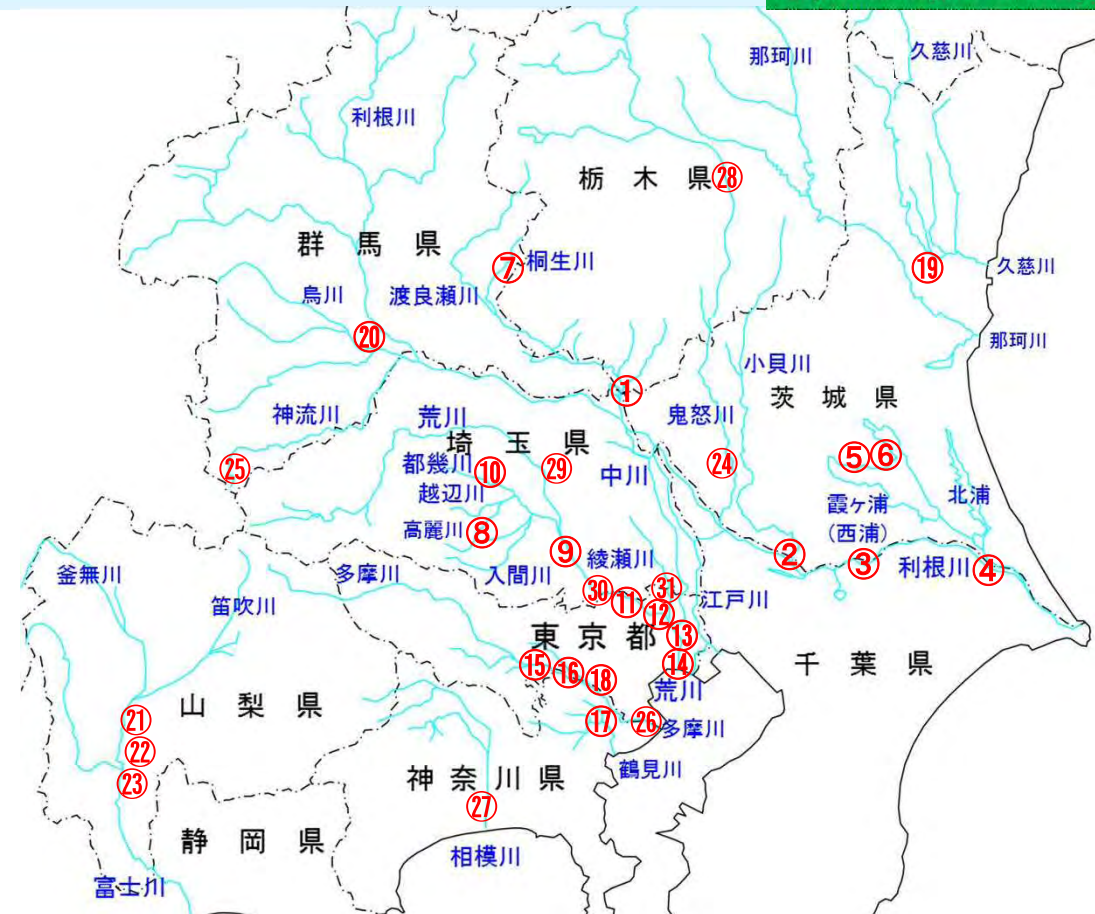
より良い河川空間の形成

平成29年度 河川協力団体の指定状況

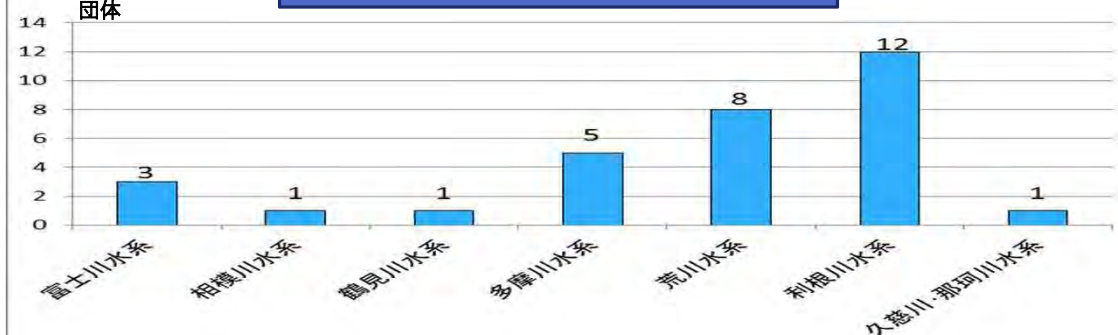
河川協力団体
Cooperation body for river management

関東地方整備局 指定番号	指定年月日	法人等の名称	住所、事務所の所在地
国(関東地方整備局) 第1号	平成26年3月26日	一般財団法人 渡良瀬遊水地アクリ メーション振興財団	栃木県栃木市藤岡町藤岡1778
国(関東地方整備局) 第2号	平成26年3月26日	公益財団法人 ハーモニセンター	東京都渋谷区代々木神園町3-1 国立オリン ピック記念青少年総合センター内
国(関東地方整備局) 第3号※	平成26年3月26日	特定非営利活動法人 川に学ぶ体験活 動協議会	東京都北区田端1-11-1 勤五郎ビル104
国(関東地方整備局) 第4号	平成26年3月26日	水の郷さわら、川の駅ガイド会	千葉県香取市佐原イ4051-3
国(関東地方整備局) 第5号	平成26年3月26日	一般社団法人 霞ヶ浦市民協会	茨城県土浦市川口二丁目13番6号
国(関東地方整備局) 第6号	平成26年3月26日	特定非営利活動法人 水辺基盤協会	茨城県稲敷郡美浦村舟子23
国(関東地方整備局) 第7号	平成26年3月26日	川づくりネットワークきりゅう	群馬県桐生市菱町2-1730
国(関東地方整備局) 第8号	平成26年3月26日	高麗川ふるさとの会	埼玉県坂戸市千代田1-1-1
国(関東地方整備局) 第9号	平成26年3月26日	特定非営利活動法人 荒川の自然を守 る会	埼玉県上尾市大字平方1334番地1
国(関東地方整備局) 第10号	平成26年3月26日	比企の川づくり協議会	埼玉県東松山市五領町12-22
国(関東地方整備局) 第11号	平成26年3月26日	特定非営利活動法人 あらかわ学会	東京都北区志茂1-23-4
国(関東地方整備局) 第12号	平成26年3月26日	特定非営利活動法人 荒川クリーンエ ド・フォーラム	東京都江戸川区東小松川3-35-13-204
国(関東地方整備局) 第13号※	平成26年3月26日	特定非営利活動法人 川に学ぶ体験活 動協議会	東京都北区田端1-11-1 勤五郎ビル104
国(関東地方整備局) 第14号	平成26年3月26日	公益財団法人 河川財団	東京都中央区日本橋小伝馬町11番9号
国(関東地方整備局) 第15号	平成26年3月26日	特定非営利活動法人 自然環境アカデ ミー	東京都福生市大字熊川378番地5
国(関東地方整備局) 第16号	平成26年3月26日	特定非営利活動法人 多摩川センター	東京都渋谷区神宮前一丁目20番14号神宮 村301
国(関東地方整備局) 第17号	平成26年3月26日	特定非営利活動法人 鶴見川流域ネッ トワーキング	神奈川県横浜市港北区綱島西二丁目19-1 レーベンス綱島西Ⅱ-A
国(関東地方整備局) 第18号	平成26年3月26日	特定非営利活動法人 とどろき水辺	神奈川県川崎市幸区小向西町3-64
国(関東地方整備局) 第19号	平成26年3月26日	茨城生物の会	茨城県水戸市天王町1-9
国(関東地方整備局) 第20号	平成26年3月26日	かな倶楽部	群馬県藤岡市浄法寺998
国(関東地方整備局) 第21号	平成26年3月26日	Yamanashiみずネット	山梨県甲府市武田4-3-11 山梨大学医学工学総合研究部附属国際流 域環境研究センター 風間研究室気付
国(関東地方整備局) 第22号	平成26年3月26日	社団法人 山梨県河川防災センター	山梨県甲府市湯村1丁目8-23
国(関東地方整備局) 第23号	平成26年3月26日	富士川ファンクラブ	山梨県甲府市羽黒町314
国(関東地方整備局) 第24号	平成27年3月27日	花とー万人の会	茨城県下妻市本城町2-22
国(関東地方整備局) 第25号	平成27年3月27日	神流川ビジョン推進協議会	埼玉県児玉郡神川町大字矢納1356-3
国(関東地方整備局) 第26号	平成27年3月27日	特定非営利活動法人 多摩川干潟ネッ トワーク	川崎市川崎区大師河原1-1-15
国(関東地方整備局) 第27号	平成27年3月27日	特定非営利活動法人 暮らしつながら 森里川海	神奈川県平塚市見附町44番24号
国(関東地方整備局) 第28号	平成28年1月15日	ういえ自然に親しむ会	栃木県さくら市蒲須坂36-2 栃木県さくら市氏家1297
国(関東地方整備局) 第29号	平成29年2月9日	特定非営利活動法人 鴻巣こうのとりを 育む会	埼玉県鴻巣市小松1-9-20
国(関東地方整備局) 第30号	平成29年2月9日	新河岸川水系水環境連絡会	東京都東久留米市南沢3-13-26 埼玉県朝霞市西弁財1-7-17-301
国(関東地方整備局) 第31号	平成30年2月20日	特定非営利活動法人 エコロジー夢企画	東京都足立区西綾瀬1-1-14 東京都足立区千住中居町20-7 スズキビ ル201

※は同一の団体ですが、活動する水系が異なり、当該河川を管理する担当事務所が異なります。



各水系における指定状況



WOOD STOVE FES 2019

入場無料
ENTRANCE FREE
2019

現代の都会生活では困難になりつつある
焔と共にある生活を、見て、触って、体感しよう！

TOKYO STOVE

2019.1.27 **SUN** 10:00-15:00
in HACHIOJI (八王子市滝ガ原運動場)

国内最大級の薪ストーブとアウトドアのイベント！
大人も子どもも楽しめる、体験型コンテンツが盛りだくさん！

HOT AIR BALOON



家族で楽しめる熱気球搭乗体験！
空を浮かぶ熱気球からはどんな景色がみれるかな？



大人 2,000円
小人 1,500円 ※15歳以下 ※2歳以下無料
時間 8:30～12:00 ※8:00 受付開始

※ 12歳以下のお子様は保護者の同伴が必要になります。
※ 天候によって中止になる場合もございます。
※ 熱気球搭乗には人数制限がございます。定員になり次第、締切となりますのでご了承ください。
※ 熱気球浮上の際に発生する水蒸気によるススが付着することがございます。汚れても問題のない衣服でお越しください。

FIREWOOD BOOTH

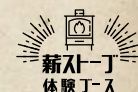


多摩川河川の樹木を伐採し、斧や薪割り機を使った薪割り体験を実施！チェーンソーの使い方講座や薪の無料配布もあります。

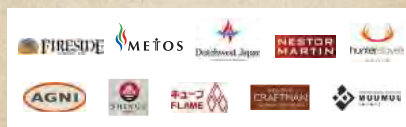
大人 1,000円 小人 500円 ※12歳以下
※12歳以下のお子様は保護者の同伴が必要になります。



WOOD STOVE BOOTH



メーカー12社が薪ストーブやアウトドアストーブの実演をします。薪ストーブクッキングではレシピの紹介や試食ができ、ストーブアクセサリも特価販売いたします。



OUTDOOR BOOTH

アウトドアブース

アウトドアブランド10社がテントや焚火台、アウトドアストーブなどの展示やアウトレット品の販売を行います。

参加ブランド



WORKSHOP BOOTH

ワークショップブース

大人から子どもまでみんなで楽しめるワークショップを開催!

- ▲ 凧作り
- ▲ フラワーアレンジメント
- ▲ ハーバリウム作り
- ▲ アウトドアヨガ体験
- ▲ キャンドルづくり
- ▲ 木工ワークショップ
- ▲ フックドラッグ作り



FOOD BOOTH

飲食ブース

ケータリングカー8社が大集合します!

- 🍷 ピザ
- 🍷 もちもちポテト
- 🍷 富士宮焼きそば
- 🍷 神戸牛フランク
- 🍷 カフェ
- 🍷 キューバサンド
- 🍷 ライスメンチ
- 🍷 無添加スムージー



TENT SAUNA

テントサウナ体験

キャンプの新しい提案。手軽にサウナを楽しめるテントサウナ。自然に囲まれた環境で本格サウナを体験してみてください!

テントサウナって? テントサウナとは専用のテントを設置し、その中で薪ストーブを燃やす屋外で楽しむプライベートサウナです。

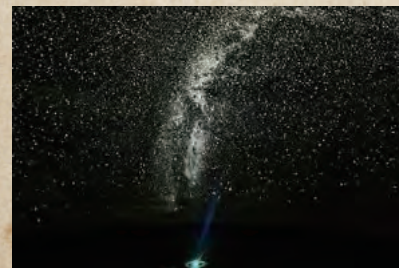


TENT PLANETARIUM

テントプラネタリウム体験

直径8mの大型ドームテント中では、2019年1月27日の八王子の100万個の星空を日中でも再現。テントに寝転んで星を眺めてみよう!

大人 700円 小人 500円 ※3歳以下無料



EVENT INFORMATION

- 開催日** 2019年1月27日(日) 10:00~15:00 ※雨天中止
- 会場** 八王子市 滝が原運動場 〒192-0002 東京都八王子市高月町2401
- 入場料** 無料 (一部ワークショップ有料)
- 駐車場** ※会場隣に運動場の駐車場がございます。※駐車台数には制限がございます。シャトルバスのご利用をお勧めします。※場内外での事故、盗難などについては自己責任で管理をお願い致します。※路上待機・路上駐車はご遠慮ください。
- 注意事項** ※イベント会場への入場は受付が必要になります。※内容の一部を変更する場合がございます。※屋外でのイベントにつき、ケガや事故、盗難などについては各自で管理をお願い致します。※雨天中止となります。中止の場合は、当日7時半に決定します。

SPECIAL SUPPORT

- 主催** 公益財団法人 河川財団
- 共催** 東京ストーブ / 株式会社カイクラフト
- 後援** 国土交通省 京浜河川事務所 / 八王子市 / 京王電鉄株式会社
- スポンサー** ファイヤーサイド株式会社 / 株式会社メトス / 株式会社京阪エンジニアリング / ダッチウエストジャパン株式会社 / 株式会社エイコーテレス / 株式会社新宮商行 / 豊臣工業株式会社 / 石村工業株式会社 / 日鉄工営株式会社 / 株式会社岡本 / 東京チェーンソー / 株式会社レニューパシフィック / GME 株式会社 / 株式会社ユーエム工業株式会社 / 株式会社角利産業 / 株式会社ボンダワーク / キャンパルジャパン株式会社 / 株式会社トゥエブルトーン / オーサムバーベキュー.com / PhotoBus JAPAN / キャプテンスタッグ株式会社 / オンウェー株式会社 / 株式会社スター商事 / 株式会社ナチュラム / イワタニプリムス株式会社 / 風土社 / 大丸建設 / 樫出版社 / 有限会社アクト / 有限会社鐵音工房 / エコレットカンパニー合同会社 / ダディーズオビニオン
- 協力** バディ / ラグラグ / ワールドワイドアリア / 気球屋 / スタジオフェビ / 風工房とき / テントプラネタリウム
- キッチンカー** Aquavita / PRIMAL / アンクルケン / 金曜JUICE bar / 象の耳 / トンきち屋 / 有限会社F.M.S 他

ACCESS



BUS SCHEDULE

運行時間約30分

京王八王子駅 ▶ 滝が原運動場
9:00 10:15 11:30 12:30
滝が原運動場 ▶ 京王八王子駅
14:00 15:00 16:00

※当日の交通状況によって、遅れが生じることがあります。

お車でご来場の場合

中央自動車道 八王子IC下車。東京環状(16号線)を拝島駅方向に進み約10分。多摩川を渡らずに拝島橋の手前を左折し、一番奥の右手が会場になります。

京王八王子駅より無料シャトルバス運行します!

シャトルバス乗り場のご案内



CONTACT

東京ストーブ



- 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸2-6-2 1F
- TEL 03-6304-7994 (担当: 濱口)
- E-mail stove@caircraft.jp
- 営業時間 10:00~18:00(火曜定休日)
- イベント情報更新中!
- 詳細はホームページで! www.tokyo-stove.com

冬の河川敷でにぎわいづくり② ～冬の河川敷でもヨガ？！～

<https://wellnest.themedia.jp/>

曾田 容子/YOKO SOTA

- ・ヨガインストラクター
- ・メディカルスポーツアロメインストラクター
- ・ナチュラルフードコーディネーター
- ・サーフライフセーバー
- ・Flow4Yoga主宰

学生時代、競泳選手としてインターハイに出場。
引退後は自然に身を置きながら様々なスポーツを通じ、2007年ヨガに出会う。

介護福祉士として高齢者施設在籍中に、寝たきりの方のケアやストレスを抱えながら勤務にあたる職員などをみて、何か出来ないかと考えるようになる。現在、アクティブシニア、医療機関、専門職、高齢者施設など連携し椅子ヨガプログラムを広く伝えている。

また自身のヨガスクールでは、丁寧且つ動と静のメリハリのある指導が定評あり、一般～プロアスリートまで幅広いクライアントをもつ。自然環境を活かしたヨガイベントや食とのコラボなどヘルシーなライフスタイルを提案している。

～冬の水辺ヨガ予定～

○八王子市滝ヶ原運動公園

2019年1月27日（日）

○世田谷区二子玉川兵庫島公園

1月5日（土）2月17（土）

詳細：<https://wellnest.themedia.jp/>

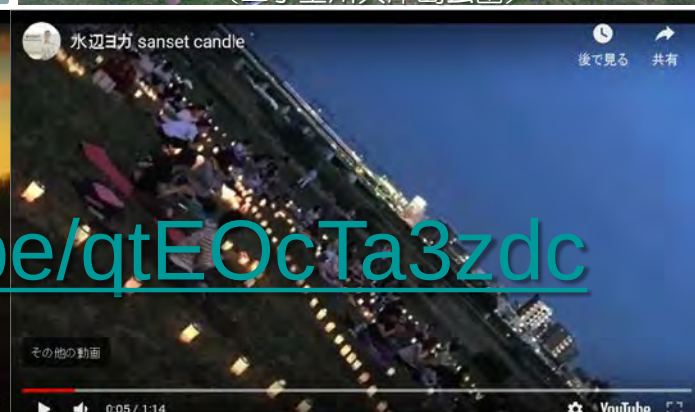


6/21は国際ヨガDAY: 2017年のテーマは”Yoga for Health”

<https://futakoloco.com/2343/>



フィナーレのキャンドル&アコースティックヨガ
(二子玉川兵庫島公園)



資源としての河川利用の高度化に関する検討会 「課題の整理と進めるべき方策」

http://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/shigenkentou/index.html

【進めるべき方向性・方策】

民間による水辺での事業参入を促し、民間の資金やノウハウを活用した河川敷地の有効利用を一層促進すべき。

そのため、適正な河川利用について検討しつつ、河川敷地占用許可準則を改正し、営業活動を行う事業者等の占用許可期間を公的主体と同程度にまで延長することが効果的である。

水辺を活用したい人々の取組みを積極的に支援すべき。

そのため、全国における河川空間のオープン化の多様な取組事例をモデルケースとして紹介するとともに、取組みを支援するための窓口の周知などを行うことが効果的である。

まちづくりと一体となった水辺整備など行政の施策を推進すべき。そのため、利用者にとって快適で安全な水辺空間を創出する「かわまちづくり」支援制度の活用などを積極的に進めることが効果的である。

多様な主体間の連携を促進する制度・運用の改善に努めるべき。特に、「かわまちづくり」支援制度による民間連携を進めることが効果的である。

あわせて、民間、自治体、個人等に対し、「ミズベリング・プロジェクト」との連携などによるサポートを行うことが効果的である。

また、協議会など水辺の利用を推進する主体が法人格を取得することも有効である。

河川空間のオープン化活用事例集

http://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/shigenkentou/pdf/jirei_kasenkukan_1602.pdf

【進めるべき方向性・方策②】

魅力ある水辺空間の創出



安全を持続的に確保するための 今後の河川管理のあり方検討小委員会

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000624.html

安全を持続的に確保するための 今後の河川管理のあり方について(答申) 平成25年4月

Ⅲ 今後のあり方

2. 魅力ある河川を残していくために

(1) 総合的な河川の管理

平成9年の河川法改正を経て、河川環境の整備・保全是、治水、利水と並んで河川管理の目的として明確に位置づけられ、これを推進するために、多自然型川づくりから多自然川づくりへの転換、自然再生事業やかかわまちづくり制度の創設等、制度や予算等の面から様々な仕組みが整えられてきた。

.....

(2) まちづくり等と一体の取組

世界の都市では、都市を代表する河川と周辺の町並みが一体となって美しく品格のある空間が形成され、多くの人々に親しまれている。我が国でも、浮世絵に描かれた江戸の下町と大川のように、かつて川は身近な存在であり、周辺の町並みと融け合って都市を代表する風景を形成する等、地域にとってなくてはならない存在であった。

しかしながら、高度成長時代を経て現在に至り、我が国の多くの中小河川は、効率を重視した排水路と化し、町並みからも背を向けられた状況となっている。これに対して、河川管理者は、地域と連携してまちづくりと一体となった河川空間の整備・利用を進めてきたところであるが、その取組はまだまだ十分であるとはいいい難く、景観や水環境が劣悪なままの河川も多い。

近年、我が国の都市では、河川の水辺周辺における民間の再開発などにより都市の再構築が進められ、各地でシンボルとなるような都市空間が形成されている。

また、各地で河川がもつ豊かな自然や美しい風景を活かし観光により地域振興を図ろうとする動きもある。このような機会を捉えること等により歴史・文化のある都市や地域にふさわしい魅力と品格を備えた川づくりが進むよう、質の高い利用の促進や民間企業との連携等の視点を重視し、まちづくりと一体となった川づくりの方向性等を検討することが重要な課題である。

3. 資源・エネルギーとしての河川の利活用に向けて

(1) 資源・エネルギーとしての河川の利活用促進と担い手の拡大

持続可能な社会づくりの意識が高まる中で、河川内の植物がバイオマス資源として地域の民間企業や市民団体等に注目されている。それらの河川の利活用を行う民間活動は、視点を変えれば、樹木の伐開や堤防の除草といった河川の管理の一部となるものもあり、このような活動を促進することが、持続的な安全を担う河川の管理の強化と充実にもつながる。

Ⅳ 具体的な取組

3. 資源・エネルギーとしての河川の利活用

(1) 資源・エネルギーとしての河川の利活用促進と担い手の拡大

② 担い手としての民間企業の役割の拡大

・河川内の草本植生や樹木がバイオマス資源として民間企業等により利活用されるよう、公益性と営利性が両立した透明性のある採取のルールづくりを行うべきである。

・その際、利活用を行う者の立場に立って、柔軟に運用できるよう留意するべきである。

③ 市民団体等の管理における位置付けの明確化

・河川環境等、河川の管理における役割を期待されている地域の市民団体等について、地域の資源として河川を利活用するニーズの拡大も踏まえて担い手としての位置付けを明確にする制度整備を行うべきである。

かわまちづくり支援制度

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000015.html

「かわまちづくり」支援制度実施要綱の改定について ～水辺の賑わいによる地域活性化のために民間事業者の方々の知恵・ノウハウ・アイデアを積極的に活かします～

「かわまちづくり」とは、地域活性化のために景観、歴史、文化及び観光基盤などの地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村及び地元住民と河川管理者の連携の下、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成を目指す取り組みです。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo02_hh_000013.html

民間企業等の河川敷地占用許可期間の延長 ～民間企業等への河川空間の開放を促進します～

国土交通省では河川敷地の占用許可制度の特例を改正し、民間企業等による占用許可期間を「3年以内」から「10年以内」へと延長することとしました。（平成28年6月2日施行）

これにより、事業をより安定的に経営していくことが可能となり、民間企業等による河川敷地の利用が促進され、水辺のにぎわいづくりが一層進む効果が期待されます。

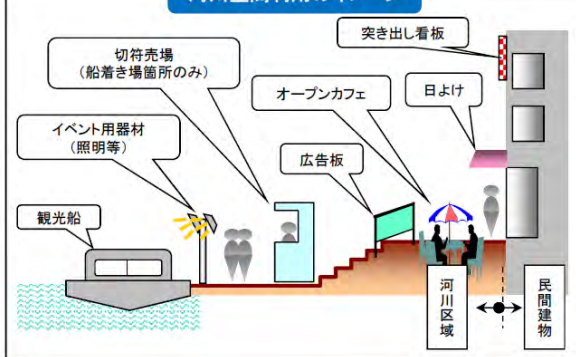
特例が適用される一定の要件

- 特例を活用する区域、占用施設、占用主体について地域の合意が図られていること。
- 通常の占用許可でも満たすべき基準に該当すること。（治水上及び利水上の支障がないこと等）
- 都市・地域の再生及び河川敷地の適正な利用に資すること。

河川空間のオープン化の特例の活用実績数



河川空間利用のイメージ



河川空間のオープン化の事例

オープンカフェ（広島市・京橋川）

バーベキュー広場（埼玉県・都幾川）



民間事業者等が河川敷地にオープンカフェやバーベキュー場等を設置することが可能に。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo05_hh_000042.html

河川防災ステーションを新たな賑わいの場に ～市町村等と連携して平常時の利活用を推進～

国土交通省では、市町村等と河川管理者の連携を強化し、地域の防災力の強化や水防災意識の向上を図るため、要綱を改正し、河川防災ステーションにおける平常時の賑わいづくりを一層推進することとしております。



OH29年度 今年のかわまちづくり全国会議は、観光まちづくりがテーマ

<https://mizbering.jp/archives/21856>

○平成28年度 かわまちづくり全国会議 http://www.rfc.or.jp/ivent28_kawamachi.html

○平成27年度 かわまちづくり全国会議 http://www.rfc.or.jp/ivent27_kawamachi.html

○「かわまちづくり」の効果と課題に関する基礎的研究－リバーフロント研究所

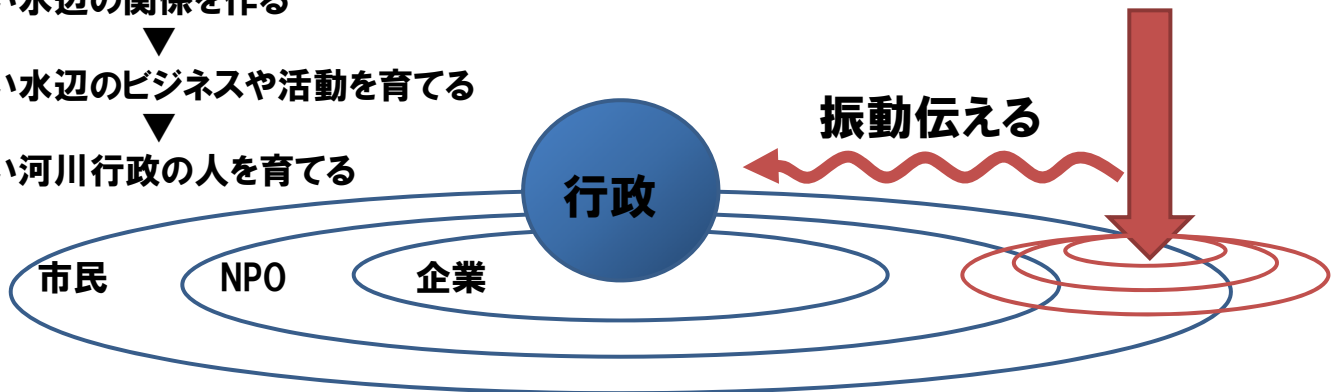
<http://www.rfc.or.jp/sozai/result/ivent/H28/houkokukai/5.houkokukai2016.pdf>

ミズベリング・プロジェクト概念図

外から中に作戦

- ・水辺に新しい関心を集める
- ・水辺に新しいアイデアを育てる
- ・新しい水辺の関係を作る
- ・新しい水辺のビジネスや活動を育てる
- ・新しい河川行政の人を育てる

ここから始める
(私が始める)



- ・水辺を楽しむ人
- ・水辺で街を変える人
- ・水辺で新しいビジネスを作る人 を増やす

ミズベリング・プロジェクトの当面の展開イメージ

